

# Library News No. 4

1,2年生 Ver.

2020/7/16 京都府立北稜高校図書館★発行

## 夏休み特別貸出実施中!

50冊まで貸出OK!

返却日は8/27(金) ← 始業式の翌々日です

勉強・進路に関する本や、読もうか迷っていた本など  
この機会にぜひ、借りてみよう!



## 夏休みの開館予定

7月

月	火	水	木	金
	20 終業式 ← 8:35 ~ 13:00 →	21	22 海の日	23 スポーツの日
26	27	28	29	30
	← 8:35 ~ 17:00 →			

8月

月	火	水	木	金
16	17	18	19	20
	← 8:35 ~ 15:00 →			
23	24	25 始業式		
	← 8:35 ~ 15:00 →			

☆8月2~17日は休館です  
☆8月18~24日は閉館時間が通常とは異なります

## こんな展示しています

### ← 「青い本」コーナー



暑さが本格的になってきましたので、まずは見た目から涼しく!  
小説・写真集・レシピ本...色んな青い本を集めました♪

ちょっとだけ紹介!



『SUMMER DESSERT』  
ムラヨシマサユキ // 著  
(成美堂出版)

『空より高く』  
重松清 // 著  
(中央公論新社)



『あおのじかん』  
イザベル・シムレール // 文・絵  
(岩波書店)

### ↓ 「怖い本」コーナー



夏といえばホラー! 怖い話で涼しくなろう

ちょっとだけ紹介!

『残穢』小野不由美 // 著

穢れは怪異となり、伝染し、拡大する。  
いるはずのない赤ん坊の泣き声、何かが床下を  
這いまわる音...この家は、どこかおかしい。



『呪術廻戦』に出てくる“残穢”はこの作品から  
来ているそうですよ! (『呪術廻戦 3』参照)



こめかみ  
『顛顛 草紙 串刺し』平山夢明

心霊現象でも、人間の狂気でもない、  
かつてない恐怖体験談。

### 7月公開の映画関連



←7/9 公開  
「ハニーレモンソーダ」  
関連コーナー  
恋愛映画のノベライズ本  
をまとめています♪



←7/16 公開  
「竜とそばかすの姫」  
関連コーナー



裏面に  
続く!

# 注目の新着図書

前回の号で紹介しきれなかった分を紹介します！



『31cm ヘアドネーションの今を伝え、未来につなぐ』  
NPO 法人 JHD&C // 監修 (KuLaScip) 369.9-シ

髪をもらう人、わたす人は、どんなことを感じているのだろう？  
ヘアドネーションにかかわる 16 名のインタビューを、イラストとともに紹介。

ヘアドネーションとは…切った髪を寄付すること。  
寄付された髪の毛から作ったウィッグを何らかの理由で  
悩みを持つ子どもたちに無償で提供すること。



『アリエナイ理科ノ大事典 文科省絶対不認可教科書』  
薬理凶室 // 監文・監修 (三オブックス) 407.5-ヤ

爆発の知識、魔改造、ケミカルクッキング…。SNS 映えから世界征服まで  
幅広く欲望に応えるマッドサイエンス大事典！  
【注意】あくまでも、自己責任でお楽しみください…。



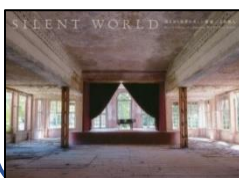
『さよなら嘘つき人魚姫』汐見夏衛 // 著 (一迅社) 913.6-シ  
居場所がなく毎日息苦しくて—“死”に憧れていた。  
すがるように奇跡を待つ 2 人が、絶望の中で見つけた光とは—。  
『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』の著者の最新作です。



『どうしても頑張れない人たち ケーキの切れない非行少年たち 2』  
宮口幸治 // 著 (新潮新書) S-368.7-ミ-2  
大ベストセラー『ケーキの切れない非行少年たち』の続編。  
世の中には頑張り方がわからず、苦しんでいる人がいる。  
困っている人たちに適切な支援につなげるための知識とメソッドを解説！



『スモールワールズ』一穂ミチ // 著 (講談社) 913.6-イ  
第 165 回直木賞候補作！  
夫婦円満を装う主婦と家に居場所がない少年。「秘密」を抱えて戻ってきた姉と再び  
暮らす高校生の弟。大切なことを言えないまま別れてしまった先輩と後輩。  
ままならない現実を抱えながら生きる人たちの、6 つの物語。



『SILENT WORLD 消えゆく世界の美しい廃墟』  
山田悠人 // 著 (パイインターナショナル) 748-ヤ  
工場・軍基地・病院・空港・廃駅など、静かで美しい世界の廃墟写真集。



『正欲』朝井リョウ // 著 (新潮社) 913.6-ア  
「自分が想像できる“多様性”だけ礼賛して、  
秩序整えた気になって、そりゃ気持ちいいよな」  
これは共感を呼ぶ傑作か？目を背けたくなる問題作か？  
作家生活 10 周年を記念した、朝井リョウ気迫の書下ろし長篇小説。



『フォン・ノイマンの哲学 人間のフリをした悪魔』  
高橋昌一郎 // 著 (講談社現代新書) S-289.3-タ  
コンピュータ、原子爆弾、ゲーム理論、天気予報…現代社会の基本構造を作った  
フォン・ノイマン。人類史上最恐の頭脳を持った天才の、栄光と苦悩の生涯。



『そこにいるのに 13の恐怖の物語』似鳥鶏 // 著 (河出文庫) B-二  
撮ってはいけない写真、曲ってはいけない Y 字路、見てはいけない URL、  
探してはいけない場所、思いだしてはいけないモノ…。  
怖い、でも止められない。13 の恐怖と怪異の物語。



『英語、苦手かも…?と思ったときに読む本』  
デイビッド・セイン // 著 (河出書房新社) 830-セ  
きっと意識が変わるはず！  
学校では教えてくれない、英語との付き合い方をネイティブが伝授します！



『半透明のラブレター』春田モカ // 著 (スターツ出版) 913.6-ハ  
もしも、大切な人の心が読めたら、どうしますか？  
切なくて儂い、純愛物語。



『みんな自分らしくいるための初めてのLGBT』  
遠藤まめた // 著 (ちくまプリマー新書) S-367.9-エ  
友だちに秘密があるのは悪いこと？なんでも“個性”と呼んでいいの？  
恋愛での変なルール、個性を尊重するわりに厳しい校則、どこからどこまでが友だち？  
性の多様性を知ること、で、「当たり前」から自由になろう。



『「自分らしさ」と日本語』中村桃子 // 著 (ちくまプリマー新書) S-810-ナ  
自分のことを「わたし」と呼ぶか「ぼく」と呼ぶかで話し手のイメージは大きく変わる。  
同じように相手を「さん」で呼ぶか「ちゃん」で呼ぶかで、相手との関係も変わる。  
ことばには、“その人らしさ”を表現し、話している人同士の関係を作り上げる働きがある。